

「新エネルギー」の導入目標値

【新エネルギー】の種類	【甲】導入実績値 (平成26(2014)年度末)	【乙】事業計画値 <sup>注1</sup> ・FIT認定 ・県個別計画 ・事業者計画	平成42(2030)年度末の推計値			導入目標				導入目標設定の考え方	参考 中期目標 平成31(2019)年度末 【対現行ビジョン目標値】	
			(A)事業計画をふまえた導入推計値(導入実績値+事業計画値) 【甲】+【乙】	(B)国の導入見通し <sup>注2</sup> による県の導入推計値	(C)県内の導入実績(H23-H26)をふまえた推計値	現行ビジョン 平成32(2020)年度末	長期目標 平成42(2030)年度末	対(A)導入実績値+事業計画値				対現行ビジョン目標値
								対(A)導入実績値+事業計画値	対現行ビジョン目標値			
①太陽光発電	64.6kW 住宅 16.8kW 非住宅47.8kW	FIT認定分(全量) 189.1kW 住宅 1.7kW 非住宅187.4kW FIT認定分(導入見込) 132.9kW 住宅 1.7kW 非住宅131.2kW (FIT認定分 75.0kW) (新規FIT認定見込分56.2kW)	253.7kW 住宅18.5kW 非住宅235.2kW	149.3kW <b>住宅用40.3kW</b> (世帯数換算) 非住宅用109.0kW (面積換算)	352.5kW 住宅61.2kW 非住宅291.3kW	53.6kW 原油換算 14.1万kL 世帯換算 7.6万世帯	219.3kW 原油換算 64.2万kL 世帯換算 34.8万世帯	111%	409%	比較的日照条件に恵まれていることから、住宅用については、(B)国の導入見通しによる県導入推計値(世帯数換算)を目標とします。 非住宅用については、これまでの実績からFIT認定分(187.4kW)のうち実現するのは4割(75.0kW)と推定し、新規に現在のFIT認定分の3割(56.2kW)が増加することをめざし、(A)事業計画値をふまえた導入推計値を目標とします。	103.3kW【193%】 原油換算 30.3万kL 世帯換算 16.4万世帯	
②太陽熱利用	0.2万kL	—	0.2万kL	<b>0.7万kL</b> (世帯数換算)	0.3万kL	2.0万kL 原油換算 2.0万kL 世帯換算 1.1万世帯	<b>0.7万kL</b> 原油換算 0.7万kL 世帯換算 0.4万世帯	350%	35%	導入実績は、現行ビジョンの目標値を大きく下回っており、家庭において太陽光発電と設置場所が重複することや家庭用ヒートポンプ式給湯器と用途が競合することから、(B)国の導入見通しによる県導入推計値(世帯数換算)とします。	0.3万kL【15%】 原油換算 0.3万kL 世帯換算 0.2万世帯	
③風力発電	7.3kW	13.0kW (事業者:建設中)	20.3kW	<b>28.8kW</b> (風速5.5m/s以上の面積換算)	7.6kW	24.5kW 原油換算 11.3万kL 世帯換算 6.1万世帯	<b>28.8kW</b> 原油換算 13.0万kL 世帯換算 7.0万世帯	142%	118%	事業者による新設・増設工事が進んでいることから、目標値は(B)国の導入見通しによる県導入推計値(風速5.5m/s以上の面積換算)とします。	18.1kW【74%】 原油換算 8.1万kL 世帯換算 4.4万世帯	
④バイオマス発電	7.3kW 木質系 0.6kW 廃棄物系6.7kW	2.8kW 木質系 2.7kW 廃棄物系0.1kW (事業者:建設中) (県:三重県廃棄物処理計画)	10.1kW 木質系3.3kW 廃棄物系6.8kW	9.0kW 木質系 5.1kW (面積換算) 廃棄物系3.9kW (事業所数換算)	<b>12.8kW</b> 木質系 3.7kW 廃棄物系9.1kW	7.6kW 原油換算 9.5万kL 世帯換算 5.1万世帯	<b>12.8kW</b> 原油換算 20.2万kL 世帯換算 10.9万世帯	127%	168%	(B)国の導入見通しによる県導入推計値(面積換算、事業所数換算)が(A)事業計画をふまえた導入推計値より少ないことから、(C)県内の導入実績をふまえた推計値とします。なお、廃棄物系については、三重県廃棄物処理計画(H28年度~H31年度)(+12,500kW)、H32年度末でのRDF焼却・発電事業終了(△12,050kW)を反映しています。	12.1kW【159%】 原油換算 19.0万kL 世帯換算 10.3万世帯	
⑤バイオマス熱利用	5.5万kL 木質系 4.0万kL 廃棄物系1.5万kL	—	5.5万kL	<b>10.2万kL</b> (面積換算)	11.5万kL	6.5万kL 原油換算 6.5万kL 世帯換算 3.5万世帯	<b>10.2万kL</b> 原油換算 10.2万kL 世帯換算 5.5万世帯	185%	156%	目標値は(B)国の導入見通しによる県導入推計値(面積換算)とします。	6.7万kL【103%】 原油換算 6.7万kL 世帯換算 3.6万世帯	
⑥中小水力発電	0.6kW	0.1kW (県:農業水利施設を活用した小水力発電マスタープラン)	<b>0.7kW</b>	2.0kW (面積換算)	0.6kW	0.4kW 原油換算 0.4万kL 世帯換算 0.2万世帯	<b>0.7kW</b> 原油換算 1.0万kL 世帯換算 0.5万世帯	100%	175%	農業水利施設を活用した小水力発電マスタープラン等(約1,000kW)に基づく計画の実現をめざし、(A)事業計画をふまえた導入推計値を目標値とします。	0.6kW【150%】 原油換算 0.9万kL 世帯換算 0.5万世帯	
⑦コージェネレーション(燃料電池除く)	44.3kW	1.5kW (事業者:計画中)	45.8kW	19.3kW (事業所数換算)	<b>49.4kW</b>	46.9kW 原油換算 24.8万kL 世帯換算 13.4万世帯	<b>49.4kW</b> 原油換算 26.2万kL 世帯換算 14.2万世帯	108%	105%	(B)国の導入見通しによる県導入推計値(事業所換算)が(A)事業計画とふまえた導入推計値を下回ることから、(C)県内の導入実績をふまえた推計値とします。	46.6kW【99%】 原油換算 24.7万kL 世帯換算 13.4万世帯	
⑧燃料電池	0.2kW 産業0.1kW 家庭0.1kW	—	0.2kW	<b>4.8kW</b> 産業1.0kW (事業所数換算) 家庭3.8kW (世帯数換算)	0.5kW (産業0.1kW) (家庭0.4kW)	4.2kW 原油換算 2.2万kL 世帯換算 1.2万世帯	<b>4.8kW</b> 原油換算 2.5万kL 世帯換算 1.4万世帯	2400%	114%	導入実績は低いものの、国は家庭用燃料電池として2030年度には530万台を目指すとしており、水素社会の到来に向けた取組を進めるため、(B)国の導入見通しによる県導入推計値(事業所数換算、世帯数換算)を目標値とし、家庭用燃料電池は約5万台(3.8kW)の導入をめざします。	0.6kW【14%】 原油換算 0.3万kL 世帯換算 0.2万世帯	
⑨次世代自動車	9.4万台	—	9.4万台	<b>34.5万台</b> (新車登録台数のうち次世代自動車登録割合20%~70%)	40.6万台	28.2万台 原油換算 10.3万kL 世帯換算 5.5万世帯	<b>34.5万台</b> 原油換算 12.6万kL 世帯換算 6.8万世帯	367%	122%	国は、新車登録台数のうち次世代自動車の割合を、20~50%(2020年度)、50~70%(2030年度)の目標を掲げていることから、目標値は(B)国の導入見通しによる県導入推計値(自動車保有台数換算)とします。	15.7万台【56%】 原油換算 5.7万kL 世帯換算 3.1万世帯	
⑩ヒートポンプ	9.8万台	—	9.8万台	<b>14.3万台</b> (世帯数換算)	23.6万台	12.2万台 原油換算 4.6万kL 世帯換算 2.5万世帯	<b>14.3万台</b> 原油換算 5.4万kL 世帯換算 2.9万世帯	146%	117%	今後も普及拡大が予測されることから、目標値は(B)国の導入見通しによる県導入推計値(世帯数換算)とします。	10.9万台【89%】 原油換算 4.1万kL 世帯換算 2.2万世帯	
合計 上段 原油換算 下段 世帯換算 【対現行ビジョン目標値】	—	—	—	—	—	原油換算 85.6万kL 世帯換算 46.1万世帯	原油換算 <b>156.0万kL</b> 世帯換算 <b>84.5万世帯</b> 【182%】	—	—	—	原油換算 100.2万kL 世帯換算 54.3万世帯 【117%】	

(注1) 事業計画値・・・「FIT認定量:固定価格買取制度による設備認定量のうち未着工分(経産省)」、「県個別計画:三重県廃棄物処理計画(平成28~平成32年度)、農業水利施設を活用した小水力発電マスタープラン」、「事業者等の計画値:ヒアリング等による民間企業等の計画」

(注2) 国の導入見通し・・・「長期エネルギー需給見通し(平成27年7月)」(経産省)、「2015年再生可能エネルギー等分散型エネルギー普及可能性検証検討委託業務報告書」(環境省)、「自動車産業戦略2014」(経産省)から算出。